

HTML・CSS とは

HTML とは？

ほとんどの WEB ページは HTML と CSS という言語でその見た目が作られています。

今あなたがご覧になっている udey のページや Yahoo!Japan などのページも HTML と CSS という言語によってその見た目が作られています。



基本的には、WEB ページにある**文字が HTML である**と考えて問題はありません。

下の画像で考えると、四角で囲った部分は HTML で作られています。（厳密に言うとこれだけではないですが、今回は HTML について理解しやすくするために一部のみ紹介します。）



文字は HTML で作られている

では、この文字はどうやって書かれているのでしょうか？HTML の書かれ方を理解するためには「タグ」という概念の理解が必要です。

HTML のタグとは？

タグとは何なのでしょう？

一言でいうと、タグとは、「**文字（テキスト）に意味を与えてあげる印のようなもの**」と言えます。

下の例のように、文字をタグで囲ってあげることにより、ただの文字が h1（見出し）や p（段落）といった意味を持つようになります。

※最後のタグ（終了タグという）には「/」が入ることに注意してください。閉じ忘れなどがあると、表示が崩れたりする原因にもなります。

【例1】

<h1>HTML を学習しよう！**</h1>**

※「HTML を学習しよう！」という文字に h1（見出し）という意味が加わった。

h1 の **h** は「**heading(見出し)**」の h です。

【例2】

<p>タグについて学習しよう！**</p>**

※「タグについて学習しよう！」という文字に **p（段落）** という意味が加わりました。

p は「paragraph」の p です。

上記のように、タグによって文字にさまざまな意味を持たせることができます。

見出しにしたい文字がある時は、その文字を<h1></h1>で囲ってあげます。

段落にしたい文字がある時は、その文字を<p></p>で囲ってあげます。

<h1></h1>や<p></p>以外にも、HTML には多くのタグがあります。次にタグの中でよく使われる種類をいくつか紹介します。

HTML のタグの具体例

h1 や p 以外に、どんなタグがあるのでしょうか？今回は、よく使うタグをいくつか紹介します。

- 箇条書きにする【タグ】

文字を箇条書きにしたい時はタグを使います。

但し、タグを使う時には、タグで囲まなければいけません。

【例】

今日やること

明日やること

【結果】

・ 今日やること

・ 明日やること

- 文字を太く（強調）する【タグ】

タグは文字を太くして、強調したい時に使います。

【例】

Hello HTML!!

【結果】

Hello HTML!!

他にも HTML には多くのタグがあります。これから HTML を学習していくと様々なタグに出会うことになるでしょう。

CSS とは？

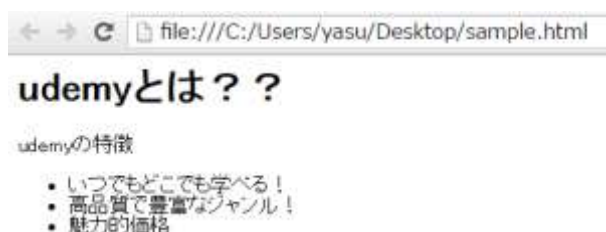
ほとんどの WEB ページは HTML と CSS という言語でその**見た目**が作られています。

CSS とは、「**HTML のタグで囲んだ範囲の文字の色・大きさ・背景の色や配置などを指定するための言語**」です。

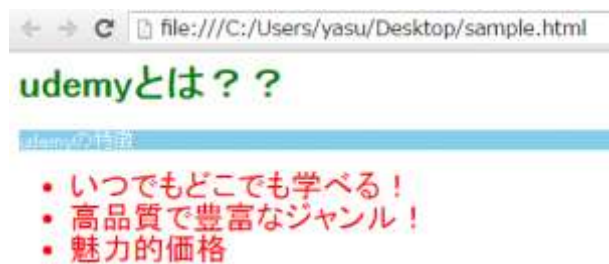
※HTML やタグについては「[HTML とは？ これを読めば初心者でも必ず HTML が書ける！](#)」をお読みください。

わかりやすいように画像で見えていきます。図1はHTMLだけを使ったブラウザです。そこにCSSを付け加えることで、図2のようにすることができます。

[図1]:HTML だけの場合



[図 2]:HTML に CSS を付け加えた場合



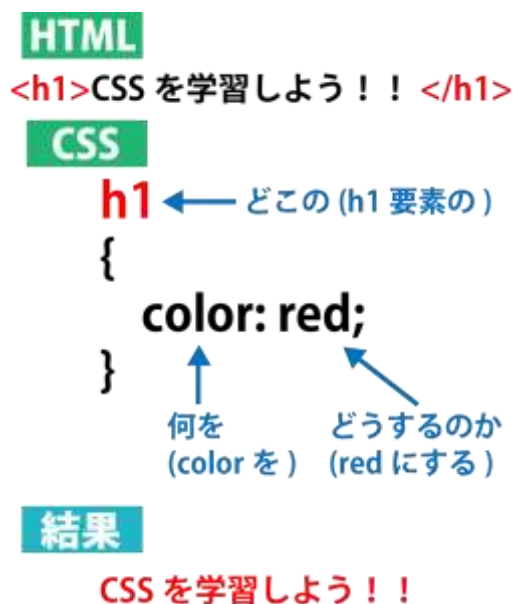
つまり、CSS とは、**HTML に色や大きさや背景などを加えて見栄えを良くするもの**ということになります。

CSS の書き方

この章では CSS の書き方を紹介します。CSS の書き方はとてもシンプルで簡単です。それではさっそく解説していきます。

CSS は **HTML のタグの「何を」「どうするのか」を記述**しています。

この関係性を図にまとめると以下のようになります。



また、この図に登場する、CSS を適応したいタグ（上図では h1）のことを「**セレクタ**」、変更したい項目を「**プロパティ**」、そのプロパティを決めるものを「**値**」と呼びます。（下図参照）

HTML

<h1>CSS を学習しよう！！ </h1>

CSS

h1 セレクタ

{

color : **red** ;

} プロパティ 値

プロパティと値は「{ }」で囲んであげることだけに注意してください。